



謹賀新春

雨岳文庫友の会会員・関係者の皆様におかれましては、新しい年をつつがなく迎えたことと思います。どうぞ、本年もよろしくお願い申し上げます。

おかげさまで、日頃の皆様の御支援・御協力により、当文庫の存在・活動ぶりが一層広く知られるようになりまして、各種の催事も増え、開催も定着するようになりました。

また、ここ 2～3 年、大学院生が史料収集に雨岳文庫を訪れるようになりました。大山阿夫利神社社史・大山寺寺史に関する史料はもとより、雨岳文庫所蔵史料を含めて、社寺地域の生活・経済全般の史料調査を実施し、宗教社会学・宗教民俗学などの観点から論文にまとめようとしています。これらの一部は脱稿しているようですが、レフリーの査読を経なければならないなど、すぐには論文に目を通すことはできないようです。今後公表されましたら、雨岳文庫でも披見できるようにいたします。

さらなる観点から“大山”の調査研究が進められることも期待するところです。

2026 年 1 月吉日 公益財団法人雨岳文庫 代表理事 野崎 昭雄



冬から春の事業 いろいろ

詳細は、[雨岳文庫HP](#)や[チラシ](#)で！

- ◆ **雨岳文庫資料館 企画展** (雨岳ガイドの会)
1/11(日)～3/29(日)の日 10時～15時
○「信仰と行楽の旅」シリーズⅠ“大山”
- ◆ **早春の特別公開～初雪に花をうたう～**
2/11(水・祝)～3/8(日)の日・祝 10時～15時
○山口家住宅の案内付き公開
・お雛様、未公開資料の展示(鄭成功の軸ほか)
○七所めぐり(雨岳文庫周辺の史跡巡り)
○梅畑の無料開放(期間中の全日)
○資料館企画展(特別公開中は祝日も開催)
- ◆ **文化財ウォーク** (雨岳ガイドの会)
①「上粕屋(雨岳文庫)周辺」
2/21(土) 9時～12時半
②「岡崎城址とその周辺」
4/18(土) 9時～12時半
- ◆ **林家たけ平落語独演会** (古典芸能を守る会)
3/28(土) 13時～14時半
- ◆ **ドングリーコンサート** (古典芸能を守る会)
4/11(土) 13時～15時
- ◆ **古民家で あなたも うっかりアーティスト** (山口家を盛り上げる会)
4/26(日) 10時～15時
○Artの展示・販売、作品作り体験、音楽パフォーマンス、ランチ、お土産ほか

秋から冬の活動等の報告

施設・環境の保全と整備

◆継続的な邸内外の整備活動

雨岳文庫が気持ちよくお客様をお迎えしたり、諸活動が出来たりするのも、友の会のメンバーによる地道なボランティア活動があるからです。

★“雨岳文庫クラブ”の活動

毎月一回の活動時には、**庭内の整備活動**を中心に、**花植えや梅園内の散策路の整備**などを行っています。

また近隣の方を中心に、草取りや草刈、落葉掃き、樹木の手入れ、トイレ掃除などの整備活動やイベントのお手伝いなども積極的に行ってくれています。

★“総点検活動”

有志の皆さんが毎月1回行っている“総点検活動”ですが、歴史文化に関するミニ勉強会や情報共有とともに、山口家住宅内の清掃活動を行っています。

12/8は、年末の大掃除として各部屋の細かい所も掃除しました。



調査研究・研修や学習

◆古文書講読会

当財団評議員の川島敏郎氏を講師に、毎月第2



金曜日に山口家住宅チャノマで古文書講読会を行っています。夏から秋にかけては「富士・大山道中雑記 附江之嶋鎌倉」、

12月の回では「東海道名所図会 巻之五 雨降 山 大山寺」を読み進めました。

◆第9回湘南社民権散歩 (雨岳民権の会)

9/28(日)、「川崎の自由民権と大山街道」と題

して、25人の参加者で川崎の溝口周辺を歩きました。まず、「地域開発とその後の民権たち～武相中央鉄道をめぐって～」をテーマにした学習会を行い、午後からは、上田忠一郎の旧居跡、ニケ領用水、宗隆寺、日本地名研究所・川崎市立地名資料室を訪ねるなど、発見と実り多き民権散歩となりました。



◆第11回湘南社民権講座 (雨岳民権の会)

戦後80年という節目に改めて、今日の国の姿、私たちの暮らしなど近現代史の視点で見つめてみようという思いで、11/8(土)、前川喜平氏(元文科省事務次官)を講師にお迎えし、「今



を戦争にさせないために」というテーマでお話を伺いました。熱心な質疑などで熱気あふれる講演会となり、100人を超す参加者一同、改めて、命や平和の尊さをかみしめました。

◆文化財ウォーク (雨岳ガイドの会)

・「家康の中原御殿と平塚からの大山道」

9/20(土)、一般参加者28人とスタッフ17人の計45人で、平塚駅から平塚八幡宮～八幡山の洋館～戦災復興記念碑～海軍火薬廠跡～相州仲原富士の碑～中原御殿跡～日枝神社を訪ねました。ウォークの開始にあたり、当会顧問である諏訪間伸氏から平塚の名前の起こり、地



形、相模国府として相模国分寺／尼寺(海老名)との関係、平塚駅開業後の大山参詣の経過等が広範囲に語られました。

・「三ノ宮とその近辺の文化財を訪ねる」

10/18(土)、一般参加者40人とスタッフ16人の計56人で、県内でも有数の遺跡地区である三之宮を歩きました。保国寺、下尾崎遺跡、埴免古墳、下谷戸縄文遺跡環状列石及住居、三之宮比々多神社を訪ねました。



・「日向薬師とその周辺」

12/20(土)、雨が心配されましたが、一般参



加者35人とスタッフ13人の計48人で、楽しくウォークが出来ました。高木の寺林に囲まれた日向薬師参道は清浄な空気に包まれていました。

次回は、2/21(土)「上粕屋(雨岳文庫)周辺」です。

◆野良仕事と勉強会 (雨岳自然の会)

10/18(土)は、野良仕事の後に、畑から市立中央公民館に移動して勉強会を行いました。今回のテーマは、東京聖栄大学の福留奈美氏による「江戸の食文化 江戸の庶民の食べ方・楽しみ方」、そして当財団専務理事の津田政行氏による「山口家の歴史・公益財団法人雨岳文庫の活動」の2本立てでした。福留先生の提案で江戸のレシ



ピーで作った豚汁の試食会には、伊勢原の文化や伝統料理を残す活動をしている柏木菊江氏も参加していただくなど、楽しく、おいしく、有意義な会となりました。

雨岳文庫の施設や環境の利用

◆青空おはなし会 (おはなしばる～ん)

10/18(土)、秋の良い天気の下で「青空おはなし会」が開催されました。

スタッフの皆様は、近隣の学校から聞こえる体



育祭の歓声や音さえもBGMとして、読み聞かせをされているようでした。

小さなお子さんたちは、笑顔でお話を聞き、時には身体を動かしながら歌を歌ったり、おはなし会を楽しみました。

◆「秋の雨岳文庫を楽しもう！」

★うっかりアーティスト(山口家を盛り上げる会)

10/26(日)の「うっかりアーティスト」は雨模様だったために、急遽規模を縮小して、写真撮影会のほか、土間では、小学生の作品展示、パンや



自家挽きコーヒーの販売、南テラスでは、作品販売、紙芝居、伝統芸能である南京玉すだれな

どが行われました。親子をはじめ、参加者みんなで楽しい時間を過ごすことができました。

次回は、4/26(日)です。

★夜の古民家探検～山口家住宅のひみつを探せ～

11/1(土)、夜の帳が降り、暗くなった山口家



住宅に集まった子どもたちは、懐中電灯を片手に、東海大学の小沢朝江教授と学生さんたちから出されたミッションに挑

戦しながら、夜の古民家を満喫しました。

★「山口家住宅」秋の特別公開

11/2(日)・3(月・文化の日)の両日、「秋の特別公開」と銘打って、日頃は未公開にしている鎧や火事装束などの“武士の時代”に係る資料を展示しました。また、雨岳文庫周辺の史跡を巡る「七所めぐり」も行いました。



2/11(水・祝)からの「早春の特別公開」も、お楽しみに！

◆生き生きと活動する子どもたち

★“シュービル学園 自然塾”

社会の中で生きづらさを感じている青少年のため



に、雨岳文庫の敷地を使って、毎週日曜日の午後に活動しています。

学校生活や人間関係で苦労している子、海外にルーツのある子など、小学生を中心

に、約30人の塾生が登録していますが、自由にのびのびと遊ぶ姿や歓声がたくさんあります。

★校外学習 (比々多小学校)

晩秋の11/10(月)、比々多小の児童と先生



方、総勢50人で“いも掘り”を行いました。

今年は比々多小の卒業生数人が、後輩のために“いも植え”や“草取

り”をやってくれ、年代を超えたつながりが出来ていることをうれしく思います。

子どもたちの豊かな気づきや表情など、純粋で素敵な姿をたくさん見ることができました。

★焼きいもパーティーほか (フォレスト&シュービル)

11/16(日)は“いも掘り”と“芋煮会”、

23(日)は“焼きいもパター

ティー”を、伊勢原FCフォレストとシュービル自然塾が合同で行いました。

初対面でも、すぐに違和感なく遊べたり、自由に(勝手に?)新しい遊びを見つけ出すなど、子どもたちが持っている素晴らしい能力を様々な場面で見ることができました。



◆お茶を楽しむ会 (侘楽侘楽茶会)

12/13(土)、大櫓の下に佇む離れで、国内外のお茶をゆっくりと楽しむ“侘楽侘楽茶会”が



行われました。今回は、茶樹の原産地雲南省でヤオ族が1000年の古茶樹から作ったお茶を喫した

ほか、雨岳文庫の茶の冬芽を陶器で炒り、鹿児島の一部に伝わっている「はんず茶」風のお茶を作ってみました。うっすらとした柔らかな甘みの一服でした。

◆林家たけ平独演会 (古典芸能を守る会)

12/20(土)、真打 林家たけ平師匠の独演会が行われ、落語初体験の方も何人か参加してくださいました。まずは相撲小屋での風景をおもしろおかしく語られた「相撲風景」で大いに笑い、後段は打って変わって、極寒の雪深い山奥でのサスペンス「鯉沢」のお噺で身震いしました。

次回は、3/28(土)です。



これからのイベントや活動予定

2026.1.1現在

期日・期間	行事名・内容など	主催・担当	時刻など	参加費など	申込方法など
1/11(日) ～3/29(日)	雨岳文庫資料館 企画展「信仰と行楽の旅 大山」	公財) 雨岳文庫 雨岳ガイドの会	期間中の日 10時～15時	無料	予約不要 雨岳文庫資料館
2/11(水祝) ～3/8(日)	山口家住宅 早春の特別公開 2026 ・お雛様、未公開資料の展示・公開 ・雨岳文庫 七所めぐり ・梅畑の無料開放(期間中の全日) ・資料館企画展(この期間中は祝も)	公財) 雨岳文庫	期間中の日・祝 10時～15時 ※梅畑の開放 は、期間中の全 日 10時～15時	住宅入館料 300 円 団体割引、 子ども等の 減免あり	日曜日・祝日以外 の見学は事前予 約にて対応
2/21(土)	文化財ウォーク「上粕屋(雨岳文庫) 周辺」	雨岳ガイドの会	9時～12時半	500 円	メール or 電話 先着 50 名
3/28(土)	真打「林家たけ平」師匠の落語独演会	古典芸能を守る会 厚木たけ平の会	13時～14時半	前売り 2,000 円	電話 会員割引あり
4/11(土)	ドングリーコンサート	古典芸能を守る会	13時～15時	1,000 円	
4/18(土)	文化財ウォーク「岡崎城址とその周辺」	雨岳ガイドの会	9時～12時半	500 円	メール or 電話 先着 50 名
4/26(日)	古民家で あなたも うっかりアーテリスト	山口家を盛り上げる会	10時～15時	各ブース 500 円ほど	予約不要
定期的な事業・活動など	<p>【山口家住宅の公開】…通年(年末年始・お盆は休館)、毎週日曜日は案内付き、日曜日以外は要予約</p> <p>【山口家文書などの調査・整理】…野崎昭雄氏(当財団理事長):毎週金曜日ほか</p> <p>【雨岳文庫所蔵什器等の調査・整理】…片山兵衛氏(当財団理事):隔週木曜日</p> <p>【山口家総点検】…建物の環境整備、展示作業、ミニ学習会ほか:毎月第2月曜日</p> <p>【古文書講読会】…講師 川島敏郎氏(当財団評議員):毎月第2金曜日(14:00～16:00)</p> <p>【IT 機器メンテナンス】…PC 等の定期的メンテナンス作業:毎月1回</p> <p>【雨岳文庫クラブ】…雨岳文庫および周辺の環境整備ほか:毎月第4日曜日</p> <p>【雨岳ガイドの会】…定例会:毎月第1土曜日、企画会、研修ウォーク、文化財ウォークおよび下見ほか</p> <p>【雨岳民権の会】…定例会:毎週金曜日、研修、民権講座、民権散歩ほか</p> <p>【雨岳自然の会】…有機栽培の実践、学習会ほか:ugakusizen@gmail.com 吉羽:090-3683-4877</p>				

ご寄附のお願い

雨岳文庫の日々の諸活動は、友の会の皆様のボランティア活動およびご寄附に支えられています。少しずつ進めている山口家住宅の改修・復元のためにも、引き続きご寄附をお願い出来れば幸いです。

なお、公益財団法人へのご寄附は所得控除の対象となり、3千円以上のご寄附をいただいた皆様には、「雨岳文庫 友の会」の会員として、入館料の免除やイベント参加の優遇措置などを行います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

「早春の特別公開」のスタッフ募集!

2/11～3/8の日曜日&祝日に行う「特別公開」のスタッフを募集しています。半日でもOKです。

◇お客様への対応 ◇展示準備作業 ほか

ご協力いただける方は事務局まで、電話かメールでご連絡ください。

★雨岳文庫ホームページ

<https://www.ugakubunko.org/ohp/>

★LINE グループ



★インスタグラム



調査研究成果物

(雨岳ガイドの会)

- ① 大山寺と阿夫利神社
 - ② 大山道合流、道灌ゆかりの地 下糟屋・上粕屋
 - ③ 大山の門前町
 - ④ 水陸交通の要所・厚木と渡辺華山
 - ⑤ 開村 400 年の伊勢原
 - ⑥ 海からの大山道・須賀と平塚宿
 - ⑦ 中原御殿と平塚からの大山道
 - ⑧ 三ノ宮とその近辺の文化財を訪ねる
 - ⑨ 日向薬師とその周辺
 - ⑩ 上粕屋(雨岳文庫) 周辺
 - ⑪ 岡崎城址とその周辺
 - ⑫ 池端から下糟屋 文化財の道を歩く
 - ⑬ 金目観音とその周辺
 - ⑭ 河原口(海老名)から相模国分寺跡まで
 - ⑮ 愛甲石田から下糟屋 文化財の道を歩く
 - ⑯ 子易～大山駅 大山詣り いよいよ大山
 - ⑰ 善波太郎を訪ねて里山を歩く
 - ① 上粕屋の地代官の出府記録(上) 山口作助日記を読む
 - ② 上粕屋の地代官の出府記録(下) 山口作助日記を歩く
 - ③ 北斎の鎌倉・江ノ嶋・大山 新板往來雙六を歩く
- *①～⑰は各 500 円、①～③は 800 円

問い合わせ先

公益財団法人雨岳文庫 事務局

0463-95-0002 または 090-9823-6754